

鶴林・エンドーペロー号優勝

東京八大学 純馬術競技大会



東京八大学純馬術競技大会が3月28日から30日まで、JRA馬事公苑で開かれ、総合馬場馬術で鶴林舞（商1・市立前橋高）・エンドーペロー号が優勝した。

春らしい穏やかなコンディションの中、1年次最後の大会で鶴林が華麗

に舞った。満開の桜をバックに人馬一体となって見る者を引き付けた。

「エンドーペローとは初めてペアを組んだので不安だったが、ベテランで優秀な馬が自分を引っ張ってくれた。馬の素質は十分なので、自分がしっかりできていたらもっと良い騎乗ができたと思う」と競技を振り返った。

また、中障害飛越競技で柳原大徳（商2・各務原西高）・ロッキンジー号が5位、団体では総合馬場馬術競技で2位、馬場馬術競技で3位に入賞した。

（久田 照喬・商2）